

対象校No. 829

注4

学校コード F126310107724

注3

設置年度 令和

4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

京都美術工芸大学

建築学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人二本松学院
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 京都美術工芸大学 事務局

職名・氏名

ジムブチョウ イナガキ コウソウ
事務部長 稲垣 幸三

電話番号

075-525-1515

(夜間)

075-533-6030

e-mail

kyogaku@kyobi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

建築学部

＜建築学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人二本松学院

(2) 大 学 名

京都美術工芸大学

(3) 調査対象大学等の位置

京都美術工芸大学 京都東山キャンパス
〒600-0991
京都府京都市東山区鞆町通正面下る上堀詰町272-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(シタニ ヒデカズ) 新谷 秀一 (令和4年4月1日)		
学 長	(シタニ ヒロヒサ) 新谷 裕久 (令和4年4月1日)	(タケウキ イズル) 竹脇 出 (令和5年4月1日)	新谷裕久は令和5年3月31日で任期満了し、竹脇出が令和5年4月1日に就任した(5)
学 部 長	(イノウエ シンイチ) 井上 晋一 (令和4年4月1日)		
学科長等	(イノウエ シンイチ) 井上 晋一 (令和4年4月1日)	(ヤスダ テルオ) 安田 光男 (令和5年4月1日)	井上晋一は学部長・学科長を兼務していたが、令和5年3月31日で兼務を解除し、安田光男が令和5年4月1日に就任した(5)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設置時の計画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
建築学部 建築学科 学士(工芸)	美術関係	4 年	150 人	2年次 0 人 3年次 5 人 4年次 0 人	610 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	150 (5) [-]	— (-) [-]	150 (5) [-]	— (-) [-]	150 (5) [-]	— (-) [-]		1.01倍	一倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	532 (-) [5]	— (-) [-]	433 (-) [1]	— (-) [-]	338 (-) [2]	— (-) [-]				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	502 (-) [4]	— (-) [-]	398 (-) [1]	— (-) [-]	306 (-) [2]	— (-) [-]				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	234 (-) [0]	— (-) [-]	267 (-) [0]	— (-) [-]	238 (-) [1]	— (-) [-]				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	163 (-) [0]	— (-) [-]	154 (-) [0]	— (-) [-]	159 (-) [1]	— (-) [-]				
入学定員超過率 B/A							1.08		1.02		1.06					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	163 [0] (-)	- [-] (-)	158 [0] (3)	- [-] (-)	159 [1] (-)	- [-] (-)	
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	151 [0] (-)	- [-] (-)	149 [0] (-)	- [-] (-)	
3 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	152 [0] (-)	- [-] (-)	
4 年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	163 [0] (-)	- [-] (-)	309 [0] (3)	- [-] (-)	460 [1] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	163 人	8 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	8 人	0 人	修学意欲の低下(8名)
令和5年度	154 人	4 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	4 人	0 人	修学意欲の低下(3名) 除籍(1名)
令和6年度	159 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		12 人		12 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{163} = \boxed{4.9} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{154} = \boxed{2.59} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{159} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<建築学部 建築学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 科 目	歴史学	2後		2								1
	美学	1前		2								1
	技芸と文学	3前		2								1
	栄養学入門	1後		2								1
	生涯学習論	1前		2								1
	生活と法律	1後		2								1
	博物館概論	1前		2								1
	森林学概論	1後		2								1
	科学と芸術	2後		2								1
	工芸と経済	2後		2								1
	伝統と学び	3前		2								1
	哲学	3後		2								1
	教育学	3後		2								1
	世界文化遺産論	1後		2								1
	地域社会論	1前		2								1
	人間関係の科学	1前		2								1
	人間関係の心理臨床	3後		2								1
	表現技術論	2前		2								1
	小計(18科目)	－	0	36	0	0	0	0	0	0	0	14
伝 統 文 化 科 目	日本工芸美術史	1後	2									1
	京都学	1前		2		1						
	伝統芸術入門Ⅰ	2前		1								4
	伝統芸術入門Ⅱ	2後		1								4
	日本文化史	4前		2								2
	京都学演習Ⅰ	2後	2			2	2	1				
	京都学演習Ⅱ	4前		2		1	1					
小計(7科目)	－	4	8	0	4	2	1	0	0	0	8	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 科 目	日本語表現法	1後		1								1
	英会話Ⅰ	1前	1									1
	美術工芸英語	1後	1									1
	英会話Ⅱ	2前		1								1
	英語コミュニケーション	3前		1								1
	情報基礎演習	1前	2					4				
	総合コミュニケーション	3前		1								2
	小計(7科目)	－	4	4	0	0	0	4	0	0	0	5
キ ャ リ ア 形 成 科 目	しごと論Ⅰ	1前		2		2						13
	しごと論Ⅱ	3前		2		9	4	2				
	社会活動Ⅰ	1通		1		1	1	1				2
	社会活動Ⅱ	2通		1		1	1	1				2
	インターンシップ	3通		2				1				
	メディアリテラシー	1後		2				1				
	現代社会論	3後		2								1
	小計(7科目)	－	0	12	0	8	4	4	0	0	0	17
基 本 科 目	伝統工芸概論	1前		2								5
	構成基礎演習	1前		1		3		3				
	日本住居史	1前		2			1					
	色彩学	1前		2								1
	日本美術史	1前		2								1
	デザイン概論	1後		2								1
	日本建築史	2前		2			1					
	西洋美術史	2前		2								1
	東洋美術史	3後		2								1
	建築計画Ⅰ	1後		2		1						
	構法計画Ⅰ	1前		2		1		1				
	建築構造力学Ⅰ	2前		2		1		1				
	建築CAD演習Ⅰ	1後		2		2		1				1
	建築概論	1前		2		1						
	文化財概論	1後		2								1
小計(15科目)	－	0	29	0	6	1	4	0	0	0	10	

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 科 目	歴史学	2後		2								1
	美学	1前		2								1
	技芸と文学	3前		2								1
	栄養学入門	1後		2								1
	生涯学習論	1前		2								1
	生活と法律	1後		2								1
	博物館概論	1前		2								1
	森林学概論	1後		2								1
	科学と芸術	2後		2								1
	工芸と経済	2後		2								1
	伝統と学び	3前		2								1
	哲学	3後		2								1
	教育学	3後		2								1
	世界文化遺産論	1後		2								1
	地域社会論	1前		2								1
	人間関係の科学	1前		2								1
	人間関係の心理臨床	3後		2								1
	表現技術論	2前		2								1
	小計(18科目)			0	36	0	0	0	0	0	0	0
伝 統 文 化 科 目	日本工芸美術史	1後	2									1
	京都学	1前		2								1
	伝統芸術入門Ⅰ	2前		1								4
	伝統芸術入門Ⅱ	2後		1								4
	日本文化史	4前		2								2
	京都学演習Ⅰ	2後	2			3	1	3				
	京都学演習Ⅱ	4前		2		1	1					
小計(7科目)		4	8	0	4	1	3	0	0	0	9	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 科 目	日本語表現法	1後		1								1
	英会話Ⅰ	1前	1									1
	美術工芸英語	1後	1									1
	英会話Ⅱ	2前		1								1
	英語コミュニケーション	3前		1								1
	情報基礎演習	1前	2				1	4				
	総合コミュニケーション	3前		1								2
小計(7科目)		4	4	0	0	1	4	0	0	0	5	
キ ャ リ ア 形 成 科 目	しごと論Ⅰ	1前		2		1						14
	しごと論Ⅱ	3前		2		11	3					4
	社会活動Ⅰ	1通		1			1	1				3
	社会活動Ⅱ	2通		1			1	1				3
	インターンシップ	3通		2				1				
	メディアリテラシー	1後		2				1				
	現代社会論	3後		2								1
小計(7科目)		0	12	0	11	3	2	0	0	0	21	
基 本 科 目	伝統工芸概論	1前		2								5
	構成基礎演習	1前		1		1	1	3	1			1
	日本住居史	1前		2			1					
	色彩学	1前		2			1					
	日本美術史	1前		2								1
	デザイン概論	1後		2								1
	日本建築史	2前		2			1					
	西洋美術史	2前		2								1
	東洋美術史	3後		2								1
	建築計画Ⅰ	1後		2			1					
	構法計画Ⅰ	1前		2		1		1				
	建築構造力学Ⅰ	2前		2		2		1				
	建築CAD演習Ⅰ	1後		2		2	1	2				1
	建築概論	1前		2		1						
	文化財概論	1後		2								1
小計(15科目)		0	29	0	7	4	5	1	0	0	11	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	歴史学	2後		2							1
	美学	1前		2							1
	技芸と文学	3前		2							1
	栄養学入門	1後		2							1
	生涯学習論	1前		2							1
	生活と法律	1後		2							1
	博物館概論	1前		2							1
	森林学概論	1後		2							1
	科学と芸術	2後		2							1
	工芸と経済	2後		2							1
	伝統と学び	3前		2							1
	哲学	3後		2							1
	教育学	3後		2							1
	世界文化遺産論	1後		2							1
	地域社会論	1前		2							1
	人間関係の科学	1前		2							1
	人間関係の心理臨床	3後		2							1
	表現技術論	2前		2							1
小計(18科目)			0	36	0	0	0	0	0	0	14
伝統文化科目	日本工芸美術史	1後	2								1
	京都学	1前		2							1
	伝統芸術入門Ⅰ	2前		1							4
	伝統芸術入門Ⅱ	2後		1							4
	日本文化史	4前		2							2
	京都学演習Ⅰ	2後	2			3	1	1	1		
	京都学演習Ⅱ	4前		2		1	1				
小計(7科目)			4	8	0	4	1	1	1	0	9
コミュニケーション科目	日本語表現法	1後		1							1
	英会話Ⅰ	1前	1								1
	美術工芸英語	1後	1								1
	英会話Ⅱ	2前		1							1
	英語コミュニケーション	3前		1							1
	情報基礎演習	1前	2			1		4			2
	総合コミュニケーション	3前		1							2
小計(7科目)			4	4	0	0	1	4	0	0	5
キャリア形成科目	しごと論Ⅰ	1前		2		1					14
	しごと論Ⅱ	3前		2		9	3				2
	社会活動Ⅰ	1通		1			1	1			3
	社会活動Ⅱ	2通		1			1	1			3
	インターンシップ	3通		2				1			
	メディアリテラシー	1後		2				1			
	現代社会論	3後		2							1
小計(7科目)			0	12	0	9	3	2	0	0	19
基本科目	伝統工芸概論	1前		2							5
	構成基礎演習	1前		1		1	2	2	1		1
	日本住居史	1前		2			1				
	色彩学	1前		2							1
	日本美術史	1前		2							1
	デザイン概論	1後		2							1
	日本建築史	2前		2			1				
	西洋美術史	2前		2							1
	東洋美術史	3後		2							1
	建築計画Ⅰ	1後		2			1				
	構法計画Ⅰ	1前		2		1		1			
	建築構造力学Ⅰ	2前		2		2		1			
	建築CAD演習Ⅰ	1後		2		2	1	2			1
	建築概論	1前		2		1					
	文化財概論	1後		2							1
小計(15科目)			0	29	0	6	3	5	1	0	11

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	歴史学	2後		2							1
	美学	1前		2							1
	技芸と文学	3前		2							1
	栄養学入門	1後		2							1
	生涯学習論	1前		2							1
	生活と法律	1後		2							1
	博物館概論	1前		2							1
	森林学概論	1後		2							1
	科学と芸術	2後		2							1
	工芸と経済	2後		2							1
	伝統と学び	3前		2							1
	哲学	3後		2							1
	教育学	3後		2							1
	世界文化遺産論	1後		2							1
	地域社会論	1前		2							1
	人間関係の科学	1前		2							1
	人間関係の心理臨床	3後		2							1
	表現技術論	2前		2							1
小計(18科目)			0	36	0	0	0	0	0	0	14
伝統文化科目	日本工芸美術史	1後	2								1
	京都学	1前		2			1				
	伝統芸術入門Ⅰ	2前		1							4
	伝統芸術入門Ⅱ	2後		1							4
	日本文化史	4前		2							2
	京都学演習Ⅰ	2後	2			3	1	1	1		
	京都学演習Ⅱ	4前		2		1	1				
小計(7科目)			4	8	0	5	1	1	1	0	8
コミュニケーション科目	日本語表現法	1後		1							1
	英会話Ⅰ	1前	1								1
	美術工芸英語	1後	1								1
	英会話Ⅱ	2前		1							1
	英語コミュニケーション	3前		1							1
	情報基礎演習	1前	2					4			2
	総合コミュニケーション	3前		1							2
小計(7科目)			4	4	0	0	0	4	0	0	5
キャリア形成科目	しごと論Ⅰ	1前		2			2				13
	しごと論Ⅱ	3前		2		10	3				1
	社会活動Ⅰ	1通		1		1	1	1			2
	社会活動Ⅱ	2通		1		1	1	1			2
	インターンシップ	3通		2				1			
	メディアリテラシー	1後		2				1			
	現代社会論	3後		2							1
小計(7科目)			0	12	0	10	3	2	0	0	18
基本科目	伝統工芸概論	1前		2							5
	構成基礎演習	1前		1		1	2	2	1		1
	日本住居史	1前		2			1				
	色彩学	1前		2							1
	日本美術史	1前		2							1
	デザイン概論	1後		2							1
	日本建築史	2前		2			1				
	西洋美術史	2前		2							1
	東洋美術史	3後		2							1
	建築計画Ⅰ	1後		2			1				
	構法計画Ⅰ	1前		2		1		1			
	建築構造力学Ⅰ	2前		2		1		1			
	建築CAD演習Ⅰ	1後		2		2	1	1			1
	建築概論	1前		2		1					
	文化財概論	1後		2							1
小計(15科目)			0	29	0	5	3	4	1	0	11

基 幹 科 目	デザイン作図演習	2前		2		2	2	2			1
	デザインと法規	2後		2							1
	都市空間論	3前		2							1
	景観デザイン論	3前		2		1					
	文献・絵画史料概説	2前		2							1
	伝統構造学	3後		2			1				
	建築CAD演習Ⅱ	2前		2		3		3			1
	建築計画Ⅱ	2前		2		1					
	構法計画Ⅱ	1後		2		1		1			
	建築材料	2後		2				1			
	建築法規	2後		2							1
	建築構造力学Ⅱ	2後		2		2		1			
	建築環境工学	2前		2							1
	世界建築史	2前		2				1			
小計(14科目)			0	28	0	7	4	7	0	0	7
展 開 科 目	古文書解読演習Ⅰ	3前		1							1
	伝統建築図	3後		2		1					1
	京町家再生論	3後		2		3					
	古文書解読演習Ⅱ	3後		1							1
	社寺建築論	3前		2		1					
	近代建築史	2後		2				1			
	室内意匠論	3後		2		1					
	建築計画Ⅲ	2後		2		1					
	建築計画Ⅳ	3前		2		1					
	都市計画	2後		2		1					
	建築設備	2後		2							1
	建築構造力学Ⅲ	3後		2				1			
	建築生産論	3後		2		1					
	公共デザイン論	3後		2		1					1
小計(14科目)			0	26	0	8	0	2			4
専 門 演 習 ・ 実 習 科 目	建築設計導入実習	1前	3				2	5	1		
	建築設計基礎演習Ⅰ	1後	4			10	4	4	1		3
	建築設計基礎演習Ⅱ	2前	4			10	4	5	1		3
	建築設計演習Ⅰ	2後	4			10	4	5	1		2
	建築設計演習Ⅱ	3通	6			10	5	6	1		3
	建築設計演習Ⅲ	4前	4			10	4	6	1		
	卒業研究	4後	6			10	5	5	1		
	小計(7科目)			31	0	0	10	5	7	1	0
博 物 館 学 芸 員 養 成 科 目	博物館経営論	2後			2						1
	博物館資料論	2前			2						2
	博物館資料保存論	3前			2						1
	博物館展示論	3後			2						1
	博物館情報・メディア論	4前			2						1
	博物館教育論	4前			2						1
	博物館実習	4通			3						1
	小計(7科目)			0	0	15	0	0	0	0	7
合計(96科目)		-	39	143	15	11	5	7	0	0	62
卒業要件及び履修方法											
(記入例) 必修科目24単位、専門基礎科目の選択科目から22単位、専門応用科目の選択科目から18単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：44単位(年間))											

基 幹 科 目	デザイン作図演習	2前		2		2	2	2			1
	デザインと法規	2後		2							1
	都市空間論	3前		2							1
	景観デザイン論	3前		2		1					
	文献・絵画史料概説	2前		2							1
	伝統構造学	3後		2			1				
	建築CAD演習Ⅱ	2前		2		3		2			1
	建築計画Ⅱ	2前		2		1					
	構法計画Ⅱ	1後		2		1		1			
	建築材料	2後		2				1			
	建築法規	2後		2							1
	建築構造力学Ⅱ	2後		2		1		1			
	建築環境工学	2前		2							1
	世界建築史	2前		2							1
小計(14科目)			0	28	0	6	3	6	0	0	8
展 開 科 目	古文書解読演習Ⅰ	3前		1							1
	伝統建築図	3後		2		1					1
	京町家再生論	3後		2		3					
	古文書解読演習Ⅱ	3後		1							1
	社寺建築論	3前		2		1					
	近代建築史	2後		2				1			
	室内意匠論	3後		2		1					
	建築計画Ⅲ	2後		2		1					
	建築計画Ⅳ	3前		2		1					
	都市計画	2後		2		1					
	建築設備	2後		2							1
	建築構造力学Ⅲ	3後		2				1			
	建築生産論	3後		2		1					
	公共デザイン論	3後		2		1					1
小計(14科目)			0	26	0	8	0	2			4
専 門 演 習 ・ 実 習 科 目	建築設計導入実習	1前	3				1	4	1		
	建築設計基礎演習Ⅰ	1後	4			9	3	3	1		4
	建築設計基礎演習Ⅱ	2前	4			9	3	4	1		3
	建築設計演習Ⅰ	2後	4			9	3	4	1		3
	建築設計演習Ⅱ	3通	6			9	4	5	1		3
	建築設計演習Ⅲ	4前	4			9	3	4	1		
	卒業研究	4後	6			9	4	3	1		
	小計(7科目)			31	0	0	9	4	5	1	0
博 物 館 学 芸 員 養 成 科 目	博物館経営論	2後			2						1
	博物館資料論	2前			2						2
	博物館資料保存論	3前			2						1
	博物館展示論	3後			2						1
	博物館情報・メディア論	4前			2						1
	博物館教育論	4前			2						1
	博物館実習	4通			3						1
	小計(7科目)			0	0	15	0	0	0	0	7
合計(96科目)		-	39	143	15	11	4	6	1	0	61
卒業要件及び履修方法											
(記入例) 必修科目24単位、専門基礎科目の選択科目から22単位、専門応用科目の選択科目から18単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：44単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例：記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】→【令和4年度(旧)】→【令和3年度(旧)】→【令和2年度(旧)】→【令和1年度(旧)】→【平成30年度(旧)】→【平成29年度(旧)】→【平成28年度(旧)】→【平成27年度(旧)】→【平成26年度(旧)】→【平成25年度(旧)】→【平成24年度(旧)】→【平成23年度(旧)】→【平成22年度(旧)】→【平成21年度(旧)】→【平成20年度(旧)】→【平成19年度(旧)】→【平成18年度(旧)】→【平成17年度(旧)】→【平成16年度(旧)】→【平成15年度(旧)】→【平成14年度(旧)】→【平成13年度(旧)】→【平成12年度(旧)】→【平成11年度(旧)】→【平成10年度(旧)】→【平成9年度(旧)】→【平成8年度(旧)】→【平成7年度(旧)】→【平成6年度(旧)】→【平成5年度(旧)】→【平成4年度(旧)】→【平成3年度(旧)】→【平成2年度(旧)】→【平成1年度(旧)】→【昭和56年度(旧)】→【昭和55年度(旧)】→【昭和54年度(旧)】→【昭和53年度(旧)】→【昭和52年度(旧)】→【昭和51年度(旧)】→【昭和50年度(旧)】→【昭和49年度(旧)】→【昭和48年度(旧)】→【昭和47年度(旧)】→【昭和46年度(旧)】→【昭和45年度(旧)】→【昭和44年度(旧)】→【昭和43年度(旧)】→【昭和42年度(旧)】→【昭和41年度(旧)】→【昭和40年度(旧)】→【昭和39年度(旧)】→【昭和38年度(旧)】→【昭和37年度(旧)】→【昭和36年度(旧)】→【昭和35年度(旧)】→【昭和34年度(旧)】→【昭和33年度(旧)】→【昭和32年度(旧)】→【昭和31年度(旧)】→【昭和30年度(旧)】→【昭和29年度(旧)】→【昭和28年度(旧)】→【昭和27年度(旧)】→【昭和26年度(旧)】→【昭和25年度(旧)】→【昭和24年度(旧)】→【昭和23年度(旧)】→【昭和22年度(旧)】→【昭和21年度(旧)】→【昭和20年度(旧)】→【昭和19年度(旧)】→【昭和18年度(旧)】→【昭和17年度(旧)】→【昭和16年度(旧)】→【昭和15年度(旧)】→【昭和14年度(旧)】→【昭和13年度(旧)】→【昭和12年度(旧)】→【昭和11年度(旧)】→【昭和10年度(旧)】→【昭和9年度(旧)】→【昭和8年度(旧)】→【昭和7年度(旧)】→【昭和6年度(旧)】→【昭和5年度(旧)】→【昭和4年度(旧)】→【昭和3年度(旧)】→【昭和2年度(旧)】→【昭和1年度(旧)】→【大正15年度(旧)】→【大正14年度(旧)】→【大正13年度(旧)】→【大正12年度(旧)】→【大正11年度(旧)】→【大正10年度(旧)】→【大正9年度(旧)】→【大正8年度(旧)】→【大正7年度(旧)】→【大正6年度(旧)】→【大正5年度(旧)】→【大正4年度(旧)】→【大正3年度(旧)】→【大正2年度(旧)】→【大正1年度(旧)】→【明治44年度(旧)】→【明治43年度(旧)】→【明治42年度(旧)】→【明治41年度(旧)】→【明治40年度(旧)】→【明治39年度(旧)】→【明治38年度(旧)】→【明治37年度(旧)】→【明治36年度(旧)】→【明治35年度(旧)】→【明治34年度(旧)】→【明治33年度(旧)】→【明治32年度(旧)】→【明治31年度(旧)】→【明治30年度(旧)】→【明治29年度(旧)】→【明治28年度(旧)】→【明治27年度(旧)】→【明治26年度(旧)】→【明治25年度(旧)】→【明治24年度(旧)】→【明治23年度(旧)】→【明治22年度(旧)】→【明治21年度(旧)】→【明治20年度(旧)】→【明治19年度(旧)】→【明治18年度(旧)】→【明治17年度(旧)】→【明治16年度(旧)】→【明治15年度(旧)】→【明治14年度(旧)】→【明治13年度(旧)】→【明治12年度(旧)】→【明治11年度(旧)】→【明治10年度(旧)】→【明治9年度(旧)】→【明治8年度(旧)】→【明治7年度(旧)】→【明治6年度(旧)】→【明治5年度(旧)】→【明治4年度(旧)】→【明治3年度(旧)】→【明治2年度(旧)】→【明治1年度(旧)】→【文政11年度(旧)】→【文政10年度(旧)】→【文政9年度(旧)】→【文政8年度(旧)】→【文政7年度(旧)】→【文政6年度(旧)】→【文政5年度(旧)】→【文政4年度(旧)】→【文政3年度(旧)】→【文政2年度(旧)】→【文政1年度(旧)】→【享和1年度(旧)】→【享和2年度(旧)】→【令和1年度(旧)】→【令和2年度(旧)】→【令和3年度(旧)】→【令和4年度(旧)】→【令和5年度(旧)】→【令和6年度(旧)】→【令和7年度(旧)】→【令和8年度(旧)】→【令和9年度(旧)】→【令和10年度(旧)】→【令和11年度(旧)】→【令和12年度(旧)】→【令和13年度(旧)】→【令和14年度(旧)】→【令和15年度(旧)】→【令和16年度(旧)】→【令和17年度(旧)】→【令和18年度(旧)】→【令和19年度(旧)】→【令和20年度(旧)】→【令和21年度(旧)】→【令和22年度(旧)】→【令和23年度(旧)】→【令和24年度(旧)】→【令和25年度(旧)】→【令和26年度(旧)】→【令和27年度(旧)】→【令和28年度(旧)】→【令和29年度(旧)】→【令和30年度(旧)】→【令和31年度(旧)】→【令和32年度(旧)】→【令和33年度(旧)】→【令和34年度(旧)】→【令和35年度(旧)】→【令和36年度(旧)】→【令和37年度(旧)】→【令和38年度(旧)】→【令和39年度(旧)】→【令和40年度(旧)】→【令和41年度(旧)】→【令和42年度(旧)】→【令和43年度(旧)】→【令和44年度(旧)】→【令和45年度(旧)】→【令和46年度(旧)】→【令和47年度(旧)】→【令和48年度(旧)】→【令和49年度(旧)】→【令和50年度(旧)】→【令和51年度(旧)】→【令和52年度(旧)】→【令和53年度(旧)】→【令和54年度(旧)】→【令和55年度(旧)】→【令和56年度(旧)】→【令和57年度(旧)】→【令和58年度(旧)】→【令和59年度(旧)】→【令和60年度(旧)】→【令和61年度(旧)】→【令和62年度(旧)】→【令和63年度(旧)】→【令和64年度(旧)】→【令和65年度(旧)】→【令和66年度(旧)】→【令和67年度(旧)】→【令和68年度(旧)】→【令和69年度(旧)】→【令和70年度(旧)】→【令和71年度(旧)】→【令和72年度(旧)】→【令和73年度(旧)】→【令和74年度(旧)】→【令和75年度(旧)】→【令和76年度(旧)】→【令和77年度(旧)】→【令和78年度(旧)】→【令和79年度(旧)】→【令和80年度(旧)】→【令和81年度(旧)】→【令和82年度(旧)】→【令和83年度(旧)】→【令和84年度(旧)】→【令和85年度(旧)】→【令和86年度(旧)】→【令和87年度(旧)】→【令和88年度(旧)】→【令和89年度(旧)】→【令和90年度(旧)】→【令和91年度(旧)】→【令和92年度(旧)】→【令和93年度(旧)】→【令和94年度(旧)】→【令和95年度(旧)】→【令和96年度(旧)】→【令和97年度(旧)】→【令和98年度(旧)】→【令和99年度(旧)】→【令和100年度(旧)】→【令和101年度(旧)】→【令和102年度(旧)】→【令和103年度(旧)】→【令和104年度(旧)】→【令和105年度(旧)】→【令和106年度(旧)】→【令和107年度(旧)】→【令和108年度(旧)】→【令和109年度(旧)】→【令和110年度(旧)】→【令和111年度(旧)】→【令和112年度(旧)】→【令和113年度(旧)】→【令和114年度(旧)】→【令和115年度(旧)】→【令和116年度(旧)】→【令和117年度(旧)】→【令和118年度(旧)】→【令和119年度(旧)】→【令和120年度(旧)】→【令和121年度(旧)】→【令和122年度(旧)】→【令和123年度(旧)】→【令和124年度(旧)】→【令和125年度(旧)】→【令和126年度(旧)】→【令和127年度(旧)】→【令和128年度(旧)】→【令和129年度(旧)】→【令和130年度(旧)】→【令和131年度(旧)】→【令和132年度(旧)】→【令和133年度(旧)】→【令和134年度(旧)】→【令和135年度(旧)】→【令和136年度(旧)】→【令和137年度(旧)】→【令和138年度(旧)】→【令和139年度(旧)】→【令和140年度(旧)】→【令和141年度(旧)】→【令和142年度(旧)】→【令和143年度(旧)】→【令和144年度(旧)】→【令和145年度(旧)】→【令和146年度(旧)】→【令和147年度(旧)】→【令和148年度(旧)】→【令和149年度(旧)】→【令和150年度(旧)】→【令和151年度(旧)】→【令和152年度(旧)】→【令和153年度(旧)】→【令和154年度(旧)】→【令和155年度(旧)】→【令和156年度(旧)】→【令和157年度(旧)】→【令和158年度(旧)】→【令和159年度(旧)】→【令和160年度(旧)】→【令和161年度(旧)】→【令和162年度(旧)】→【令和163年度(旧)】→【令和164年度(旧)】→【令和165年度(旧)】→【令和166年度(旧)】→【令和167年度(旧)】→【令和168年度(旧)】→【令和169年度(旧)】→【令和170年度(旧)】→【令和171年度(旧)】→【令和172年度(旧)】→【令和173年度(旧)】→【令和174年度(旧)】→【令和175年度(旧)】→【令和176年度(旧)】→【令和177年度(旧)】→【令和178年度(旧)】→【令和179年度(旧)】→【令和180年度(旧)】→【令和181年度(旧)】→【令和182年度(旧)】→【令和183年度(旧)】→【令和184年度(旧)】→【令和185年度(旧)】→【令和186年度(旧)】→【令和187年度(旧)】→【令和188年度(旧)】→【令和189年度(旧)】→【令和190年度(旧)】→【令和191年度(旧)】→【令和192年度(旧)】→【令和193年度(旧)】→【令和194年度(旧)】→【令和195年度(旧)】→【令和196年度(旧)】→【令和197年度(旧)】→【令和198年度(旧)】→【令和199年度(旧)】→【令和200年度(旧)】→【令和201年度(旧)】→【令和202年度(旧)】→【令和203年度(旧)】→【令和204年度(旧)】→【令和205年度(旧)】→【令和206年度(旧)】→【令和207年度(旧)】→【令和208年度(旧)】→【令和209年度(旧)】→【令和210年度(旧)】→【令和211年度(旧)】→【令和212年度(旧)】→【令和213年度(旧)】→【令和214年度(旧)】→【令和215年度(旧)】→【令和216年度(旧)】→【令和217年度(旧)】→【令和218年度(旧)】→【令和219年度(旧)】→【令和220年度(旧)】→【令和221年度(旧)】→【令和222年度(旧)】→【令和223年度(旧)】→【令和224年度(旧)】→【令和225年度(旧)】→【令和226年度(旧)】→【令和227年度(旧)】→【令和228年度(旧)】→【令和229年度(旧)】→【令和230年度(旧)】→【令和231年度(旧)】→【令和232年度(旧)】→【令和233年度(旧)】→【令和234年度(旧)】→

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

特になし

【令和5年度】

特になし

【令和6年度】

・3年次開講科目（学年進行で令和6年度より開講）である「建築設計演習Ⅱ」の授業実施方法は、届出時「通期」で計画していたが、半期で休学する学生の修学スケジュールに困難が生じる恐れがあることから、「建築設計演習ⅡA（前期に開講）」と「建築設計演習ⅡB（後期に開講）」に分割した。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	77 科目	7 科目	96 科目	13 科目 [+1]	77 科目 [±0]	7 科目 [±0]	97 科目 [+1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{96} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	共用する他の学校 〈専〉京都建築大学校、定員1550人 〈専〉京都伝統工芸大学校、定員530人 専修学校設置基準第45条に定める 校舎等に必要面積の校地を備え ている。 〈専〉京都建築大学校、4,850㎡ 〈専〉京都伝統工芸大学校、1,730㎡ 借地：16,176㎡、25年 借地：8,108㎡、60年		
	校 舎 敷 地	6,508㎡	2,863㎡	3,863㎡	13,234㎡			
	運動場用地	1,425㎡	8,799㎡	0㎡	10,224㎡			
	小 計	7,933㎡	11,662㎡	3,863㎡	23,458㎡			
	そ の 他	1,778㎡	60,180㎡	0㎡	61,958㎡			
	合 計	9,711㎡	71,842㎡	3,863㎡	85,416㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	共用する他の学校に必要な校舎面 積 〈専〉京都建築大学校、4,850㎡ 〈専〉京都伝統工芸大学校、1,730㎡			
	21,898㎡ (21,898㎡)	575㎡ (575㎡)	14,198㎡ (14,198㎡)	36,671㎡ (36,671㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	13室	24室	26室	3室 (補助職員 一人)	一室 (補助職員 一人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体		
	建築学部 建築学科			24 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	建築学部 建築学科	1,620 [600] (1,313 [481]) (1,902 [664]) (2,082 [696]) (2,272 [721])	16 [5] (16 [6])	4 [3] (4 [3])	50 (50)	0 (0)	0 (0)	
		1,620 [600]	16 [5]	4 [3]	50	0	0	
	計	(1,313 [481]) (1,902 [664]) (2,082 [696]) (2,272 [721])	(16 [6])	(4 [3])	(50)	(0)	(0)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1,420㎡		104		53,500冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,157㎡		なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	2,500千円	2,500千円	2,500千円
	共同研究費等	共 同 研 究 費 等	一千元	一千元	設備購入費	一千元	一千元	一千元
		学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
	1,740千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	一千元	一千元		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立学校等経常経費補助金、手数料収入、雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称											収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
芸術学部 デザイン・工芸学科	4年	100人	3年次5人	410人	学士(工芸)	0.94倍	-	-	平成24年度	■京都東山キャンパス 京都府京都市東山区 鶴町通正町下る上堀 詰町272-1				
建築学部 建築学科	4年	150人	3年次5人	610人	学士(工芸)	1.01倍	-	-	令和4年度	同上	平成28年度に工芸学部建築学科を開設。 令和4年度に工芸学部から建築学部へ独立・改組した。 なお、改組した建築学部建築学科の入学定員および収容定員に変更はない。			
大学全体	4年	250人	3年次10人	1020人	-	-	-	-	-	-				

大 学 の 名 称											収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
大学全体	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					

大 学 の 名 称											収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
学校全体	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - 本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - 「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜建築学部 建築学科＞

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授 (学 長)	新谷 裕久 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（歯学）	専	教授 (学 長)	新谷 裕久 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（歯学）	兼任 教授 (学 長) (副 学 長)	教授 (学 長) (副 学 長)	新谷 裕久 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（歯学）	兼任 教授 (学 長) (副 学 長)	教授 (学 長) (副 学 長)	新谷 裕久 (62) ＜令和4年4月＞ 博士（歯学）
		京都学 しごと論Ⅰ ※ しごと論Ⅱ ※ 社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ			京都学 しごと論Ⅰ ※ しごと論Ⅱ ※ 社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ			京都学 しごと論Ⅰ ※ しごと論Ⅱ ※ 社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ			京都学 しごと論Ⅰ ※ しごと論Ⅱ ※ 社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ
専			専			専	教授 (学 長)	竹 出 出 (65) ＜令和5年4月＞ 工学博士	専	教授 (学 長)	竹 出 出 (66) ＜令和5年4月＞ 工学博士
								建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			しごと論Ⅱ ※ 建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
専	教授 (学 部 長)	高田 光雄 (70) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専	教授 (副 学 長)	高田 光雄 (70) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専	教授 (副 学 長)	高田 光雄 (71) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専	教授 (副 学 長)	高田 光雄 (72) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		建築計画Ⅳ 京町家再生論 京都学演習Ⅰ しごと論Ⅰ ※ しごと論Ⅱ ※ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			建築計画Ⅳ 建築概論 京町家再生論 京都学演習Ⅰ しごと論Ⅰ ※ しごと論Ⅱ ※ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			建築計画Ⅳ 建築概論 京町家再生論 京都学演習Ⅰ しごと論Ⅰ ※ しごと論Ⅱ ※ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			建築計画Ⅳ 建築概論 京町家再生論 京都学演習Ⅰ しごと論Ⅰ ※ しごと論Ⅱ ※ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
専	教授 (学 科 長)	井上 晋一 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専	教授 (学 部 長 兼 学 科 長)	井上 晋一 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専	教授 (学 部 長 兼 学 科 長)	井上 晋一 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専	教授 (学 部 長 兼 学 科 長)	井上 晋一 (55) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		京町家再生論 しごと論Ⅱ ※ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			京町家再生論 しごと論Ⅱ ※ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			京町家再生論 しごと論Ⅱ ※ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			京町家再生論 しごと論Ⅱ ※ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
専	教授	種村 俊昭 (70) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	専			専			専		
		建築概論 建築計画Ⅰ しごと論Ⅱ ※ 構成基礎演習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究									
専	教授	戸高 太郎 (52) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）	専	教授	戸高 太郎 (52) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）	専	教授	戸高 太郎 (53) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）	専	教授	戸高 太郎 (54) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		構法計画Ⅰ 構法計画Ⅱ 建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ			構法計画Ⅰ 構法計画Ⅱ 建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ			構法計画Ⅰ 構法計画Ⅱ 建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ			構法計画Ⅰ 構法計画Ⅱ 建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ
専	教授	大上 直樹 (66) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	専	教授	大上 直樹 (66) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	専	教授	大上 直樹 (67) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	専	教授	大上 直樹 (68) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		社寺建築論 伝統建築図 京都学演習Ⅱ しごと論Ⅱ ※ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			社寺建築論 伝統建築図 京都学演習Ⅱ しごと論Ⅱ ※ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			社寺建築論 伝統建築図 京都学演習Ⅱ しごと論Ⅱ ※ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			社寺建築論 伝統建築図 京都学演習Ⅱ しごと論Ⅱ ※ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究

専	准教授	井上 年和 (52) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）	日本住居史 日本建築史 伝統構造学 京都学演習Ⅰ 京都学演習Ⅱ しごと論Ⅱ ※ 社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究	専	准教授	井上 年和 (52) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）	日本住居史 日本建築史 伝統構造学 京都学演習Ⅰ 京都学演習Ⅱ しごと論Ⅱ ※ 社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究	専	准教授	井上 年和 (53) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）	日本住居史 日本建築史 伝統構造学 京都学演習Ⅰ 京都学演習Ⅱ しごと論Ⅱ ※ 社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究	専	准教授	井上 年和 (54) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）	日本住居史 日本建築史 伝統構造学 京都学演習Ⅰ 京都学演習Ⅱ しごと論Ⅱ ※ 社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
		生川 慶一郎 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	京町家再生論 しごと論Ⅱ ※ 京都学演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			生川 慶一郎 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	京町家再生論 しごと論Ⅱ ※ 京都学演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			生川 慶一郎 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	京町家再生論 しごと論Ⅱ ※ 京都学演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			生川 慶一郎 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	京町家再生論 しごと論Ⅱ ※ 京都学演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
		人見 将敏 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（建築学）	しごと論Ⅱ ※ 構成基礎演習 デザイン作図演習 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			人見 将敏 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（建築学）	建築計画Ⅰ しごと論Ⅱ ※ 構成基礎演習 デザイン作図演習 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			人見 将敏 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（建築学）	建築計画Ⅰ しごと論Ⅱ ※ 構成基礎演習 デザイン作図演習 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究			人見 将敏 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（建築学）	建築計画Ⅰ しごと論Ⅱ ※ 構成基礎演習 デザイン作図演習 建築CAD演習Ⅰ 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
専	講師	岡北 一孝 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	世界建築史 しごと論Ⅱ ※ 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究	専				専				専			
		杏 義啓 (70) ＜令和4年4月＞ 学士（工学）	構成基礎演習 デザイン作図演習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究												
専	講師	山田 幸秀 (64) ＜令和4年4月＞ 学士（文学）	メディアリテラシー インターンシップ	専	講師	山田 幸秀 (64) ＜令和4年4月＞ 学士（文学）	メディアリテラシー インターンシップ	専	講師	山田 幸秀 (65) ＜令和4年4月＞ 学士（文学）	メディアリテラシー インターンシップ	専	講師	山田 幸秀 (66) ＜令和4年4月＞ 学士（文学）	メディアリテラシー インターンシップ
専	講師	根来 宏典 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	建築材料 建築CAD演習Ⅱ 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究	専	講師	根来 宏典 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	建築材料 建築CAD演習Ⅱ 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究	専	講師	根来 宏典 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	建築材料 建築CAD演習Ⅱ 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究	専	准教授	根来 宏典 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	建築材料 デザイン作図演習 建築CAD演習Ⅱ 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究

専	講師	永井 秀幸 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	情報基礎演習 建築CAD演習Ⅰ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
		江本 弘 (37) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	近代建築史 構成基礎演習 デザイン作図演習 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
専	講師	新谷 謙一郎 (30) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	構法計画Ⅰ 構法計画Ⅱ 建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ 建築構造力学Ⅲ 情報基礎演習 建築設計導入実習 建築設計演習Ⅱ 社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ
		宮内 智久 (45) ＜令和4年4月＞ 修士（建築学）	情報基礎演習 建築CAD演習Ⅰ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
専	講師	杉本 直子 (56) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	京都学演習Ⅰ デザイン作図演習 構成基礎演習 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ
		砂川 晴彦 (30) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	日本建築史 京都学演習Ⅰ 構成基礎演習 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
専	講師	江本 弘 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	近代建築史 構成基礎演習 デザイン作図演習 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
		新谷 謙一郎 (31) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	構法計画Ⅰ 構法計画Ⅱ 建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ 建築構造力学Ⅲ 情報基礎演習 建築設計導入実習 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ
専	准教授	宮内 智久 (46) ＜令和4年4月＞ 修士（建築学）	情報基礎演習 建築CAD演習Ⅰ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
		白鳥 洋子 (54) ＜令和4年10月＞ 博士（工学）	世界建築史 情報基礎演習 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
専	講師	杉本 直子 (57) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	京都学演習Ⅰ デザイン作図演習 構成基礎演習 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
		砂川 晴彦 (31) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	日本建築史 京都学演習Ⅰ 構成基礎演習 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
専	准教授	宮内 智久 (47) ＜令和4年4月＞ 修士（建築学）	しごと論Ⅱ ※ 情報基礎演習 建築CAD演習Ⅰ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
		白鳥 洋子 (55) ＜令和4年10月＞ 博士（工学）	しごと論Ⅱ ※ 世界建築史 情報基礎演習 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
専	講師	杉本 直子 (58) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	京都学演習Ⅰ デザイン作図演習 構成基礎演習 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究
		砂川 晴彦 (32) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	日本建築史 京都学演習Ⅰ 構成基礎演習 建築設計導入実習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築設計演習Ⅲ 卒業研究

21

兼任	講師	岡 達也 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		博物館概論 博物館資料論 博物館実習
兼任	講師	木村 奈保 (49) ＜令和4年4月＞ 学士（工芸学）
		博物館実習
兼任	助教	加納 奈都 (29) ＜令和4年4月＞ 学士（工芸学）
		社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ
兼任	講師	中村 卓 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（デザイン学）
		建築CAD演習Ⅰ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計演習Ⅱ
兼任	講師	山口 尚之 (55) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計演習Ⅰ
兼任	講師	堀井 大穂 (50) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅰ
兼任	講師	大庭 徹 (40) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ
兼任	講師	細尾 直久 (40) ＜令和4年4月＞ 学士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ
兼任	講師	橋本 頼幸 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		建築環境工学 建築設備
兼任	講師	大田 精一 (68) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		伝統建築図
兼任	講師	山田 滋也 (68) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計演習Ⅱ
兼任	講師	村上 真樹 (42) ＜令和4年4月＞ 博士（芸術学）
		美学 哲学
兼任	講師	岩田 均 (74) ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
		地域社会論 工芸と経済 博物館経営論
兼任	講師	中村 みどり (34) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		歴史学
兼任	講師	武藤 夕佳里 (56) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		技芸と文学
兼任	講師	桑原 彩 (52) ＜令和4年4月＞ 学士（家政学）
		栄養学入門

兼任	准教授	岡 達也 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		博物館概論 博物館資料論 博物館実習
兼任	講師	木村 奈保 (49) ＜令和4年4月＞ 学士（工芸学）
		博物館実習
兼任	助教	加納 奈都 (29) ＜令和4年4月＞ 学士（工芸学）
		社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ
兼任	特任教授	川尻 潤 (57) ＜令和4年4月＞ 修士（美術）
		しごと論Ⅱ※
兼任	講師	中村 卓 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（デザイン学）
		建築CAD演習Ⅰ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計演習Ⅱ
兼任	講師	山口 尚之 (55) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計演習Ⅰ
兼任	講師	堀井 大穂 (50) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計演習Ⅰ
兼任	講師	大庭 徹 (40) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ
兼任	講師	細尾 直久 (40) ＜令和4年4月＞ 学士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ
兼任	講師	橋本 頼幸 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		建築環境工学 建築設備
兼任	講師	大田 精一 (68) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 伝統建築図
兼任	講師	山田 滋也 (68) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計演習Ⅱ
兼任	講師	岩田 均 (74) ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
		地域社会論 工芸と経済 博物館経営論
兼任	講師	中村 みどり (34) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		歴史学
兼任	講師	武藤 夕佳里 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		技芸と文学
兼任	講師	桑原 彩 (52) ＜令和4年4月＞ 学士（家政学）
		栄養学入門

兼任	准教授	岡 達也 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		博物館概論 博物館資料論 博物館実習
兼任	講師	木村 奈保 (50) ＜令和4年4月＞ 学士（工芸学）
		博物館実習
兼任	助教	加納 奈都 (29) ＜令和4年4月＞ 学士（工芸学）
		社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ
兼任	特任教授	川尻 潤 (58) ＜令和4年4月＞ 修士（美術）
		しごと論Ⅱ※
兼任	講師	中村 卓 (42) ＜令和4年4月＞ 博士（デザイン学）
		建築CAD演習Ⅰ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計演習Ⅱ
兼任	講師	山口 尚之 (56) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計演習Ⅰ
兼任	講師	大庭 徹 (41) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ
兼任	講師	細尾 直久 (41) ＜令和4年4月＞ 学士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ
兼任	講師	橋本 頼幸 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		建築環境工学 建築設備
兼任	講師	大田 精一 (69) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 伝統建築図
兼任	講師	山田 滋也 (69) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計演習Ⅱ
兼任	講師	岩田 均 (75) ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
		地域社会論 工芸と経済 博物館経営論
兼任	講師	中村 みどり (35) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		歴史学
兼任	講師	武藤 夕佳里 (55) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		技芸と文学
兼任	講師	桑原 彩 (53) ＜令和4年4月＞ 学士（家政学）
		栄養学入門

兼任	准教授	岡 達也 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		しごと論Ⅱ※ 博物館概論 博物館資料論 博物館実習 デザイン概論
兼任	講師	木村 奈保 (51) ＜令和4年4月＞ 学士（工芸学）
		博物館実習 総合コミュニケーション
兼任	講師	加納 奈都 (29) ＜令和4年4月＞ 学士（工芸学）
		社会活動Ⅰ 社会活動Ⅱ
兼任	特任教授	川尻 潤 (59) ＜令和4年4月＞ 修士（美術）
		しごと論Ⅱ※
兼任	准教授	東 貴一郎 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		色彩学
兼任	講師	中村 卓 (43) ＜令和4年4月＞ 博士（デザイン学）
		建築CAD演習Ⅰ 建築CAD演習Ⅱ 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA
兼任	講師	山口 尚之 (57) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB
兼任	講師	大庭 徹 (42) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB
兼任	講師	橋本 頼幸 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		建築環境工学 建築設備
兼任	講師	大田 精一 (70) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計基礎演習Ⅱ 伝統建築図
兼任	講師	山田 滋也 (70) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB
兼任	講師	岩田 均 (76) ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
		地域社会論 工芸と経済 博物館経営論
兼任	講師	中村 みどり (36) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		歴史学
兼任	講師	武藤 夕佳里 (56) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		技芸と文学
兼任	講師	桑原 彩 (54) ＜令和4年4月＞ 学士（家政学）
		栄養学入門

兼任	講師	吉富 千恵 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		生涯学習論 教育学 日本語表現法
兼任	講師	右近 潤一 (49) ＜令和4年4月＞ 修士（法学）
		生活と法律
兼任	講師	森本 幸裕 (74) ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		森林学概論
兼任	講師	三木 勲 (47) ＜令和4年4月＞ 博士（工芸学）
		科学と芸術 世界文化遺産論
兼任	講師	齋藤 桂 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		伝統と学び
兼任	講師	藤居 尚子 (44) ＜令和4年4月＞ 修士（心理学）
		人間関係の科学 人間関係の心理臨床
兼任	講師	近藤 利江子 (57) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）※
		日本工芸美術史
兼任	講師	大室 瑞恵 (74) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	手塚 博子 (54) ＜令和4年4月＞ 学士（美術）
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	高林 佑丞 (35) ＜令和4年4月＞ 学士（情報社会政策学）
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	吉岡 利彦 (69) ＜令和4年4月＞ 学士（経営学）
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	杉本 歌子 (55) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業
		日本文化史
兼任	講師	中谷 武雄 (76) ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
		文化財概論
兼任	講師	西山 克 (71) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）※
		文獻・絵画史料概論 古文書解読演習Ⅱ
兼任	講師	三野 拓也 (34) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）※
		古文書解読演習Ⅰ
兼任	講師	若林 卯兵衛 (78) ＜令和4年4月＞ 学士（経済学）
		伝統工芸概論 ※
兼任	講師	八田 誠治 (70) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		伝統工芸概論 ※
兼任	講師	田中 水萌 (33) ＜令和4年4月＞ 博士（人文学）
		日本美術史
兼任	講師	尾崎 登志子 (31) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		西洋美術史
兼任	講師	浅萩 毅 (57) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		東洋美術史
兼任	講師	松井 宏記 (37) ＜令和4年4月＞ 修士（科学）
		デザインと法規

兼任	講師	吉富 千恵 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		生涯学習論 教育学 日本語表現法
兼任	講師	右近 潤一 (49) ＜令和4年4月＞ 修士（法学）
		生活と法律
兼任	講師	森本 幸裕 (74) ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		森林学概論
兼任	講師	三木 勲 (47) ＜令和4年4月＞ 博士（工芸学）
		世界建築史 科学と芸術 世界文化遺産論
兼任	講師	齋藤 桂 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		伝統と学び
兼任	講師	近藤 利江子 (57) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）※
		日本工芸美術史
兼任	講師	大室 瑞恵 (74) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	手塚 博子 (54) ＜令和4年4月＞ 学士（美術）
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	高林 佑丞 (35) ＜令和4年4月＞ 学士（情報社会政策学）
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	杉本 歌子 (55) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業
		日本文化史
兼任	講師	中谷 武雄 (76) ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
		文化財概論
兼任	講師	西山 克 (71) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）※
		文獻・絵画史料概論 古文書解読演習Ⅱ
兼任	講師	三野 拓也 (34) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）※
		古文書解読演習Ⅰ
兼任	講師	若林 卯兵衛 (78) ＜令和4年4月＞ 学士（経済学）
		伝統工芸概論 ※
兼任	講師	八田 誠治 (70) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		伝統工芸概論 ※
兼任	講師	田中 水萌 (33) ＜令和4年4月＞ 博士（人文学）
		日本美術史
兼任	講師	尾崎 登志子 (31) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		西洋美術史
兼任	講師	浅萩 毅 (57) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		東洋美術史
兼任	講師	松井 宏記 (37) ＜令和4年4月＞ 修士（科学）
		デザインと法規

兼任	講師	吉富 千恵 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		生涯学習論 教育学 日本語表現法
兼任	講師	右近 潤一 (50) ＜令和4年4月＞ 修士（法学）
		生活と法律
兼任	講師	森本 幸裕 (75) ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		森林学概論
兼任	講師	三木 勲 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（工芸学）
		世界建築史 科学と芸術 世界文化遺産論
兼任	講師	齋藤 桂 (42) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		伝統と学び
兼任	講師	近藤 利江子 (58) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）※
		日本工芸美術史
兼任	講師	大室 瑞恵 (75) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	手塚 博子 (55) ＜令和4年4月＞ 学士（美術）
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	高林 佑丞 (36) ＜令和4年4月＞ 学士（情報社会政策学）
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	杉本 歌子 (56) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業
		日本文化史
兼任	講師	中谷 武雄 (77) ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
		文化財概論
兼任	講師	西山 克 (72) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）※
		文獻・絵画史料概論 古文書解読演習Ⅱ
兼任	講師	三野 拓也 (35) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）※
		古文書解読演習Ⅰ
兼任	講師	若林 卯兵衛 (79) ＜令和4年4月＞ 学士（経済学）
		伝統工芸概論 ※
兼任	講師	八田 誠治 (71) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		伝統工芸概論 ※
兼任	講師	田中 水萌 (34) ＜令和4年4月＞ 博士（人文学）
		日本美術史
兼任	講師	浅萩 毅 (58) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		東洋美術史
兼任	講師	松井 宏記 (37) ＜令和4年4月＞ 修士（科学）
		デザインと法規

兼任	講師	吉富 千恵 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		生涯学習論 教育学 日本語表現法
兼任	講師	右近 潤一 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（法学）
		生活と法律
兼任	講師	森本 幸裕 (76) ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		森林学概論
兼任	講師	三木 勲 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（工芸学）
		世界建築史 科学と芸術 世界文化遺産論
兼任	講師	齋藤 桂 (43) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		伝統と学び
兼任	講師	近藤 利江子 (59) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）※
		日本工芸美術史
兼任	講師	大室 瑞恵 (76) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	手塚 博子 (56) ＜令和4年4月＞ 学士（美術）
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	高林 佑丞 (37) ＜令和4年4月＞ 学士（情報社会政策学）
		伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
兼任	講師	杉本 歌子 (57) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業
		日本文化史
兼任	講師	中谷 武雄 (78) ＜令和4年4月＞ 博士（経済学）
		文化財概論
兼任	講師	西山 克 (73) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）※
		文獻・絵画史料概論 古文書解読演習Ⅱ
兼任	講師	三野 拓也 (36) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）※
		古文書解読演習Ⅰ
兼任	講師	八田 誠治 (72) ＜令和4年4月＞ 修士（工学）
		伝統工芸概論 ※
兼任	講師	田中 水萌 (35) ＜令和4年4月＞ 博士（人文学）
		日本美術史
兼任	講師	浅萩 毅 (59) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		東洋美術史
兼任	講師	松井 宏記 (37) ＜令和4年4月＞ 修士（科学）
		デザインと法規

兼任	講師	福田 安佐子 (34) ＜令和4年4月＞ 修士（人間・環境学）	兼任	講師	福田 安佐子 (34) ＜令和4年4月＞ 修士（人間・環境学）	兼任	講師	福田 安佐子 (35) ＜令和4年4月＞ 修士（人間・環境学）	兼任	講師	福田 安佐子 (36) ＜令和4年4月＞ 修士（人間・環境学）
		現代社会論			現代社会論			現代社会論			現代社会論
兼任	講師	和田 積希 (41) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	和田 積希 (41) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	和田 積希 (42) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	和田 積希 (43) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		博物館資料論 博物館展示論			博物館資料論 博物館展示論			博物館資料論 博物館展示論			博物館資料論 博物館展示論
兼任	講師	内田 俊秀 (73) ＜令和4年4月＞ 学士（文学）									
		博物館資料保存論 伝統工芸概論 ※									
兼任	講師	加茂 瑞穂 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）									
		博物館情報・メディア論									
兼任	講師	村上 隆 (68) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	村上 隆 (68) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	村上 隆 (69) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	村上 隆 (70) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		日本文化史			日本文化史			日本文化史			日本文化史
兼任	講師	高志 緑 (35) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）									
		博物館教育論									
兼任	講師	余谷 和則 (43) ＜令和4年4月＞ 修士（環境）	兼任	講師	余谷 和則 (43) ＜令和4年4月＞ 修士（環境）	兼任	講師	余谷 和則 (44) ＜令和4年4月＞ 修士（環境）	兼任	講師	余谷 和則 (45) ＜令和4年4月＞ 修士（環境）
		建築法規			建築法規			建築法規			建築法規
兼任	講師	西堀 耕太郎 (47) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業	兼任	講師	西堀 耕太郎 (47) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業	兼任	講師	西堀 耕太郎 (48) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業			
		しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			
兼任	講師	大西 英玄 (43) ＜令和4年4月＞ 学士（社会学）	兼任	講師	大西 英玄 (43) ＜令和4年4月＞ 学士（社会学）	兼任	講師	大西 英玄 (44) ＜令和4年4月＞ 学士（社会学）	兼任	講師	大西 英玄 (45) ＜令和4年4月＞ 学士（社会学）
		しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※
兼任	講師	藤本 杜介 (50) ＜令和4年4月＞ 学士（工学）	兼任	講師	藤本 杜介 (50) ＜令和4年4月＞ 学士（工学）	兼任	講師	藤本 杜介 (51) ＜令和4年4月＞ 学士（工学）	兼任	講師	藤本 杜介 (52) ＜令和4年4月＞ 学士（工学）
		しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※
兼任	講師	堀木 エリ子 (57) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業	兼任	講師	堀木 エリ子 (57) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業	兼任	講師	堀木 エリ子 (58) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業	兼任	講師	堀木 エリ子 (59) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒業
		しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※
兼任	講師	阿部 祐二 (63) ＜令和4年4月＞ 学士（政治経済学）	兼任	講師	阿部 祐二 (63) ＜令和4年4月＞ 学士（政治経済学）	兼任	講師	阿部 祐二 (64) ＜令和4年4月＞ 学士（政治経済学）	兼任	講師	阿部 祐二 (65) ＜令和4年4月＞ 学士（政治経済学）
		しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※
兼任	講師	宮沢 孝幸 (58) ＜令和4年4月＞ 博士（獣医学）	兼任	講師	宮沢 孝幸 (58) ＜令和4年4月＞ 博士（獣医学）	兼任	講師	宮沢 孝幸 (59) ＜令和4年4月＞ 博士（獣医学）			
		しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			しごと論Ⅰ※			
			兼任	特任教授	櫻村 俊昭 (70) ＜令和4年4月＞ 博士（工学） 構成基礎演習 建築設計基礎演習Ⅰ	兼任	特任教授	櫻村 俊昭 (71) ＜令和4年4月＞ 博士（工学） 構成基礎演習 建築設計基礎演習Ⅰ	兼任	特任教授	櫻村 俊昭 (72) ＜令和4年4月＞ 博士（工学） 構成基礎演習 建築設計基礎演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB
			兼任	講師	藤巻 佐有梨 (29) ＜令和4年4月＞ 修士（美術） デザイン作図演習 建築設計演習Ⅱ 建築デザイン演習Ⅱ	兼任	講師	藤巻 佐有梨 (30) ＜令和4年4月＞ 修士（美術） デザイン作図演習 建築設計演習Ⅱ 建築デザイン演習Ⅱ	兼任	講師	藤巻 佐有梨 (31) ＜令和4年4月＞ 修士（美術） デザイン作図演習 構成基礎演習 建築設計演習ⅡA 建築設計演習ⅡB 建築デザイン演習Ⅱ
			兼任	講師	西村 知敏 (33) ＜令和4年4月＞ 修士（文学） 美学 哲学	兼任	講師	西村 知敏 (34) ＜令和4年4月＞ 修士（文学） 美学 哲学	兼任	講師	西村 知敏 (35) ＜令和4年4月＞ 修士（文学） 美学 哲学
			兼任	講師	加藤 結芽 (25) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 人間関係の科学	兼任	講師	加藤 結芽 (26) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 人間関係の科学			
			兼任	講師	古澤 文子 (26) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 人間関係の心理臨床	兼任	講師	古澤 文子 (27) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 人間関係の心理臨床	兼任	講師	古澤 文子 (28) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学） 人間関係の心理臨床 人間関係の科学

			兼任	講師	川瀬 みゆき (53) ＜令和4年4月＞ 準学士	兼任	講師	川瀬 みゆき (54) ＜令和4年4月＞ 準学士	兼任	講師	川瀬 みゆき (55) ＜令和4年4月＞ 準学士
					伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ			伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ			伝統芸術入門Ⅰ 伝統芸術入門Ⅱ
			兼任	講師	奥井 素子 (50) ＜令和8年4月＞ 博士（芸術）	兼任	講師	奥井 素子 (51) ＜令和8年4月＞ 博士（芸術）	兼任	講師	奥井 素子 (52) ＜令和8年4月＞ 博士（芸術）
					博物館教育論			博物館教育論			博物館教育論
			兼任	講師	森 道彦 (36) ＜令和4年4月＞ 博士（美術）	兼任	講師	森 道彦 (37) ＜令和4年4月＞ 博士（美術）	兼任	講師	森 道彦 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（美術）
					博物館資料保存論			博物館資料保存論			博物館資料保存論
			兼任	講師	大車 美保 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	大車 美保 (45) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	大車 美保 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
					博物館情報・メディア論			博物館情報・メディア論			博物館情報・メディア論
						兼任	講師	堀上 千寿 (56) ＜令和5年4月＞ 修士（芸術）	兼任	講師	堀上 千寿 (57) ＜令和5年4月＞ 修士（芸術）
								西洋美術史			西洋美術史
						兼任	講師	阿部 寛志 (49) ＜令和4年10月＞ 博士（工学）	兼任	講師	阿部 寛志 (50) ＜令和4年10月＞ 博士（工学）
								デザインと法規			デザインと法規
									兼任	講師	岩岸 克浩 (52) ＜令和6年4月＞ 学士（造学）
											建築生産論

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

・ R4. 3種村俊昭教授が専任教員を退職したため就任辞退 ・ R4. 4種村俊昭特任教授（専任→非常勤特任教授）就任 ・ R4. 3岡北一孝講師が専任教員を退職したため就任辞退 ・ R4. 3杏義啓講師が専任教員を退職したため就任辞退 ・ R4. 4宮内智久准教授就任（専任-新規） ・ R4. 4杉本直子講師就任（専任-新規） ・ R4. 4砂川晴彦助教就任（専任-新規） ・ R4. 3浅見武教授が専任教員（兼担）を退職したため就任辞退 ・ R4. 4川尻潤特任教授就任（兼担-新規） ・ R4. 3村上真樹非常勤講師就任辞退 ・ R4. 3藤居尚子非常勤講師就任辞退 ・ R4. 3吉岡利彦非常勤講師就任辞退 ・ R4. 4藤巻佐有梨非常勤講師就任（非常勤講師-新規） ・ R4. 4西村知織非常勤講師就任（非常勤講師-新規） ・ R4. 4加藤結芽非常勤講師就任（非常勤講師-新規） ・ R4. 4古澤文子非常勤講師就任（非常勤講師-新規） ・ R4. 4川瀬みゆき非常勤講師就任（非常勤講師-新規）

【令和5年度】

・ R5. 3新谷裕久教授が任期満了に伴い学長を退任 ・ R5. 4新谷裕久教授が副学長に就任 ・ R5. 4竹脇出教授が学長に就任（新規） ・ R5. 4井上晋一教授が学部長兼学科長から学部長に変更 ・ R5. 4安田光男教授が学科長に就任 ・ R5. 3永井秀幸講師が専任教員を辞任 ・ R4. 10白鳥洋子准教授が就任（新規） ・ R5. 1黒田祐五講師が就任（新規） ・ R5. 3安藤眞吾教授が任期満了に伴い副学長を退任 ・ R5. 4安藤眞吾特任教授（専任→非常勤特任教授）就任 ・ R5. 3堀井大継非常勤講師辞任 ・ R5. 4三木勲非常勤講師担当科目変更（世界建築史の担当を白鳥洋子専任准教授に変更） ・ R4. 9松井宏記非常勤講師辞任 ・ R4. 10阿部寛志非常勤講師就任
--

【令和6年度】

・ R6. 3河村大助准教授が専任教員を辞任 ・ R6. 2黒田祐五講師が専任教員を辞任 ・ R6. 4北岡慎也講師が就任（専任-新規） ・ R6. 4齊藤啓輔講師が就任（専任-新規） ・ R6. 4数下和真助教が就任（専任-新規） ・ R6. 3安藤眞吾特任教授（兼任）辞任 ・ R6. 3小林泰弘特任教授（兼担）辞任 ・ R6. 4小林泰弘特任教授（兼担→兼任-非常勤特任教授）就任 ・ R6. 4東俊一郎准教授（兼担）就任 ・ R6. 3細尾直久非常勤講師（兼任）辞任 ・ R6. 3若林卯兵衛非常勤講師（兼任）辞任 ・ R6. 3西堀耕太郎非常勤講師（兼任）辞任 ・ R6. 3宮沢孝幸非常勤講師（兼任）辞任 ・ R6. 3加藤結芽非常勤講師（兼任）辞任 ・ R6. 4岩岸克浩非常勤講師就任（非常勤講師-新規）
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	
うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
11	3	8	0	22	0	12	5	6	1	24	0
(11)	(4)	(6)	(1)	(22)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
12	5	6	1	24	0	12	5	6	1	24	0
[+1]	[+2]	[△2]	[+1]	[+2]	[±0]	[+1]	[+2]	[△2]	[+1]	[+2]	[±0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	4	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{24}{22} = \boxed{109.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{4}{24} = \boxed{16.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	種村 俊昭	R4. 3	選択	建築概論	①	R4. 3…専任教員を退職したため就任辞退（４）						
				選択	建築計画Ⅰ	①							
				選択	しごと論Ⅱ ※	②							
				選択	構成基礎演習	②							
				必修	建築設計基礎演習Ⅰ	②							
				必修	建築設計基礎演習Ⅱ	①							
				必修	建築設計演習Ⅰ	①							
				必修	建築設計演習Ⅱ	①							
				必修	建築設計演習Ⅲ	①							
必修	卒業研究	①											
2	講師	岡北 一孝	R4. 3	選択	世界建築史	②	R4. 3…専任教員を退職したため就任辞退（４）						
				選択	構成基礎演習	②							
				選択	構成基礎演習	①							
				選択	デザイン作図演習	①							
				必修	建築設計導入実習	①							
				必修	建築設計基礎演習Ⅰ	①							
				必修	建築設計基礎演習Ⅱ	①							
				必修	建築設計演習Ⅰ	①							
				必修	建築設計演習Ⅱ	①							
必修	建築設計演習Ⅲ	①											
3	講師	杏 義啓	R4. 3	選択	構成基礎演習	①	R4. 3…専任教員を退職したため就任辞退（４）						
				選択	デザイン作図演習	②							
				必修	建築設計基礎演習Ⅰ	②							
				必修	建築設計基礎演習Ⅱ	②							
				必修	建築設計演習Ⅰ	②							
				必修	建築設計演習Ⅱ	②							
				必修	建築設計演習Ⅲ	①							
				必修	卒業研究	①							
合 計（Ｄ）					後任補充状況の集計（Ｅ）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修	18	科目	必修	13	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	28	科目	計	18	科目	計	10	科目	計	0	科目

- （注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（３）-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	講師	永井 秀幸	R5. 3	必修	情報基礎演習	①	R5. 3. 31付で専任教員を退職したため辞任（５）						
				選択	建築CAD演習Ⅰ	①							
				選択	建築CAD演習Ⅱ	①							
				必修	建築設計導入実習	①							
				必修	建築設計基礎演習Ⅰ	①							
				必修	建築設計基礎演習Ⅱ	①							
				必修	建築設計演習Ⅰ	①							
				必修	建築設計演習Ⅱ	①							
				必修	建築設計演習Ⅲ	①							
				必修	卒業研究	①							
2	講師	黒田 祐五	R6. 2	選択	建築CAD演習Ⅰ	①	R6. 2. 29付で専任教員を退職したため辞任（６）						
				選択	建築CAD演習Ⅱ	①							
				必修	建築設計導入実習	①							
				必修	建築設計基礎演習Ⅰ	①							
				必修	建築設計基礎演習Ⅱ	①							
				必修	建築設計演習Ⅰ	①							
				必修	建築設計演習Ⅱ	①							
				必修	建築設計演習Ⅲ	①							
必修	卒業研究	①											
2	講師	河村 大助	R6. 3	選択	建築生産論	②	R6. 3. 31付で専任教員を退職したため辞任（６）						
				選択	構成基礎演習	①							
				選択	しごと論Ⅱ（オムバス）	①							
				選択	デザイン作図演習	①							
				必修	建築設計基礎演習Ⅰ	①							
				必修	建築設計基礎演習Ⅱ	①							
				必修	建築設計演習Ⅰ	①							
				必修	建築設計演習Ⅱ	①							
				必修	建築設計演習Ⅲ	①							
				必修	卒業研究	①							
合 計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修	21	科目	必修	21	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	7	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	29	科目	計	28	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
6	人	必修	39 科目	必修	34 科目	必修	5 科目	必修	0 科目		
		選択	18 科目	選択	12 科目	選択	6 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	57 科目	計	46 科目	計	11 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{6}{22} = 27.27\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
〇〇	人	必修	#VALUE! 科目	必修 〇〇 科目	必修 〇〇 科目	必修 〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択 〇〇 科目	選択 〇〇 科目	選択 〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由 〇〇 科目	自由 〇〇 科目	自由 〇〇 科目
		計	0 科目	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の就任辞退（未就任）並びに辞任については、新年度に実施する学生向けガイダンスにおいて、丁寧に説明した。また、辞任までに専任教員の交代を行っており、授業および学生指導への影響はないものと考えている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年)	・ 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【認可】 遵守事項 ・ 届出時の段階では、22名の専任教員の内6名の教員が完成年度までに定年の65歳を超える見込みであった。 一方で今後の教員組織強化のため、新規採用を積極的に行い、開設時まで若手教員を中心に3名採用することができた。 また、就任予定であった2名の（退職年齢を超える教員）教員の就任辞退があったことから、年齢のバランスが大幅に改善した。 (4) (5)	・ 今後も教員組織強化のため、新規採用を積極的に行い、安定的な教員組織の運営とバランスのとれた年齢構成となるよう、改善を進める。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<建築学部 建築学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD活動は「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組み」であることから全学的な組織として、学長を委員長として「FD推進委員会」を設置している。なお、SD活動の推進も規程に盛り込み、委員会名称を10月1日付けで「FD・SD推進委員会」に改正した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

第1回	2023年度FD推進委員会	4月18日（火）	出席者13名
第2回	2023年度FD推進委員会	6月27日（火）	出席者13名
第3回	2023年度FD推進委員会	8月29日（火）	出席者11名 欠席者2名
第4回	2023年度FD推進委員会	9月21日（火）	出席者13名
第5回	2023年度FD・SD推進委員会	11月21日（火）	出席者13名
第6回	2023年度FD・SD推進委員会	12月19日（火）	出席者13名
第7回	2023年度FD・SD推進委員会	3月26日（火）	出席者13名

第1回	2023年度FD・SD合同研修会	9月19日（火）	出席者55名 欠席者6名（うち、建築学部専任教員22名中19名出席）
-----	------------------	----------	------------------------------------

c 委員会の審議事項等

第1回	2023年度FD推進委員会	4月18日（火）	2022年度後期 授業評価アンケートのフィードバックと公開について 2023年度前期 授業評価アンケートの実施について 2023年度FD・SD合同研修会について
第2回	2023年度FD推進委員会	6月27日（火）	2023年度前期 授業評価アンケートの実施について 2022年度後期 授業評価アンケート結果の公開について
第3回	2023年度FD推進委員会	8月29日（火）	2023年度 FD・SD合同研修会の開催について 2022年度後期授業アンケート結果の大学HPでの公開について
第4回	2023年度FD・SD推進委員会	9月21日（火）	2023年度前期 授業評価アンケート結果の公開・フィードバックシートの実施について
第5回	2023年度FD・SD推進委員会	11月21日（火）	2023年度後期 授業評価アンケートの実施について 2023年度前期 授業評価アンケートフィードバックシートの実施について 2023年度前期 授業評価アンケート結果の大学HPでの公開について

- | | | | |
|-----|--------------------------|-----------|---|
| 第6回 | 2023年度FD・SD推進委員会 | 12月19日(火) | 2023年度FD・SD合同研修会のアンケート結果について
2023年度後期授業評価アンケート実施に係る学生への伝達事項の制定について |
| 第7回 | 2023年度FD・SD推進委員会 | 3月26日(火) | 京都美術工芸大学学生による授業評価実施要項の改正について
2023年度後期 授業評価アンケート結果の公開・フィードバックシートの実施について |
| 第1回 | 2023年度FD・SD合同研修会9月19日(火) | | |
- 1 【午前の部（全教職員参加）】 今、FDで何が議論されているか
 - 2 【午前の部（全教職員参加）】 大学職員について
 - 3 【午後の部（全教職員参加）】 機関別認証評価制度研修会

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 2023年度前期授業評価アンケート 2023年7月 3日～7月28日の授業の間に実施
- ・ 2023年度後期授業評価アンケート 2024年1月15日～2月 5日の授業の間に実施
- ・ SD・FD合同委員会においてテーマを決めて研修会を実施する。

b 実施方法

- ・ グーグルクラスルームにてformsを用いて実施した。
- ・ 全教職員対象のFD・SD合同研修会を上記の内容で実施した。(欠席者には資料を配付)

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 全教職員対象の研修会に出席者61名 欠席者6名(6名の欠席者には資料を配付)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ アンケート実施結果の分析による授業改善、教育改善の取り組みに反映
- ・ 教員のFD活動を通して教育力量の向上及び教育活動の促進に期待

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 前期、後期終盤に実施 授業評価アンケート
- ・ グーグルクラスルームにてformsを用いて実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ アンケートの集計結果は、掲示板にて学生に公表する。
- ・ 担当教員には、アンケートの集計結果を個別に通知する。
- ・ 担当教員は、学生アンケートの内容に対し、フィードバックシートにて委員会あて回答する。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建築学部設置の目的は、日本の伝統的な美術工芸を基盤に京都の地で日本の伝統美の系譜を学ぶとともに自由な発想・斬新な視点を受け継ぎ、新しい日本の美を追求する教育を行う。そして、多様な建築・工芸の世界で必要となる知識・技術を修得させることで、その持っている意味をより深く理解し、新しいモノづくりへ展開させることを教育研究上の目標としている。

令和4年度（初年度）の学生募集においては、志願者数532名・入学者数163名となり、入学定員を充足することができた。

令和5年度の学生募集においては、志願者数433名・入学者数154名となり、入学定員を充足することができた。

令和6年度の学生募集においては、志願者数339名・入学者数159名となり、入学定員を充足することができた。

今後も志願者へ向けて、趣旨・目的の周知を図り、安定的な学生確保を行いたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和6年11月上旬 令和6年度認証評価の自己点検評価書を公表予定（実地調査終了後）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和6年11月上旬予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・平成30（2018）年度に公益財団法人日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価を受審、適合認定を得た。評価結果は大学ホームページに公開済み。評価のフォローアップに対する改善報告書及び本学のホームページに公表は令和2（2020）年度に同機構に提出した。
- ・次回は令和6（2024）年10月末に公益財団法人日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価を受審することになっている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

京都美術工芸大学FD・SD推進委員会規程

平成24年1月26日制定

平成24年4月 1日施行

(目的)

第1条 この規程は、京都美術工芸大学（以下「本学」という。）にファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を推進するためにFD・SD推進委員会（以下「委員会」という。）を置き、本学及び本学の教職員が教育研究活動等の質的向上を図るために組織的に取り組む活動（以下「FD・SD」という。）に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(FD・SDの定義)

第2条 この規程において「FD」とは、大学設置基準第11条第2項に規定する授業の内容及び方法を改善するための組織的な研修及び研究の活動、並びに大学院設置基準第9条の3第2項に規定する大学院の授業及び研究指導の内容及び方法を改善するための教員の組織的な研修及び研究の活動をいう。

2 この規程において「SD」とは、大学設置基準第11条第1項及び第3項、並びに大学院設置基準第9条の3第1項及び第3項に規定する大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教員及び事務職員等に必要な知識及び技能を習得させ、その能力及び資質を向上させるための研修活動をいう。

(任務)

第3条 委員会は、次に掲げる事項を審議し、FD・SDを推進するための活動を行う。

- (1) 授業改善のための基本方針及び実施体制に関すること。
- (2) 授業評価の実施に関すること。
- (3) 授業方法等の改善のための支援に関すること。
- (4) FD・SDの推進・啓発を目的とした講演会及び教職員の研修等に関すること。
- (5) 指導補助者の研修等に関すること。
- (6) その他FD・SDの推進に関すること。

(構成)

第4条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 研究科長
- (4) 学部長
- (5) 教学委員会委員長
- (6) 自己点検・評価委員会委員長
- (7) 事務局長
- (8) 学長が指名した本学の教職員若干名

2 委員会の委員長は、学長とする。

3 委員会の副委員長は、委員長が指名する。

(運営)

第5条 委員会は、委員長がこれを招集し、その議長となる。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

3 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

- 4 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決議し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。
- 5 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

（小委員会）

第6条 委員会が必要と認めたときは、小委員会を設置することができる。

2 構成員等については、委員会で定める。

（他の委員会との連携）

第7条 委員会は、FD・SDを推進するため、自己点検・評価委員会、教学委員会などの委員会に協力を求めることができる。

（実施体制の整備）

第8条 FD・SDを推進するために必要な事項については、別に定める。

（事務担当）

第9条 委員会の記録その他の事務は、事務局が担当する。

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は、教授会及び研究科委員会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。